



こんにちは 和田あき子です

一般質問

日本共産党県会議員団のトップバッターで、知事の政治姿勢について質しました。

自民党の裏金疑惑と金権腐敗政治について

和田：自民党が組織的に派閥のパーティーを利用し違法な企業・団体献金を長期にわたって集め、政治資金収支報告書の不記載で多額の裏金を作るという戦後最大の金権腐敗事件となっていることに対する知事の見解を質問。

阿部知事：国会論戦の推移を見守りたい。政治に対する国民の信頼を確かなものにする国民の議論が必要。

災害列島における原発について

和田：能登半島地震で震度7を記録した志賀町にある北陸電力志賀原発では、様々な深刻なトラブルが発生。さらに原発事故が起きた場合には避難計画通りに住民が避難できないことが判明。

災害列島の日本には原発適地はなく、原発に依存しない再生可能エネルギーの拡大が必要と思うが、県のエネルギー施策を質問。

阿部知事：知事会等を通じて再エネの主力電源化に向けた施策の拡充を国に求めてきている。県としても脱炭素社会をつくらなければならないと考えている。

教育問題について

和田：学校がブラック職場という教職員の長時間労働が社会問題になっている。教職員の勤務実態の改善が求められる。教育長は常に財源が問題というが、コストを第一義的な困難に掲げるのではなく、一人ひとりに目が行き届く教育の推進と、教職員の多忙化の改善に、県独自にさらなる少人数学級の推進と教員増が必要と質問。また、長時間労働に対する認識と若年退職者がどうか質しました。

内堀教育長：少人数学級は有効な対策ではあるが、財源に加え、教員や教室の確保等が課題。

若年退職者は20代が36人。30代が34人。退職理由は様々であり、長時間労働は心身を脅かすだけでなく、仕事の生産性の低下にもつながる。

和田：ゆとりのない学校は、子どもにも教師にも言いようのない負担を押し付けて追い込んでいる。ゆとりある学校の実現をしてほしいと要望。



農政林務委員会

農政委員会



有機農産物の生産を拡大するうえで、生産者と実需者をつなぎ、利用をすすめる取り組みが大事になることから、学校給食などにつながる状況を質問。

一定の利用はあるが、給食に安定的に提供することや食材の高騰などが課題と答弁。

林務委員会

信州F・パワープロジェクトについて、本会議でも大北森林組合補助金事件のような轍をふむことがないか。計画通りに事業が進まない場合に計画変更・中断となれば国からの補助金の返還が求められるのではないかと。国に対しての報告はどうなっているか質しました。

林野庁には、随時情報提供し、意思疎通を図っていると答弁。



現地調査・懇談

花粉の少ないスギ育成を調査

スギ花粉で辛い症状に悩まされている方が多いなか、県ではスギ花粉症発生源対策として、スギの花粉の少ない品種の種子を採取すること。あわせて「クマスギ」を花粉が少ない品種に認定して苗木生産にむけ取り組んでいる、須坂市米子の苗畑山林を視察。(3月15日)

水道広域化、浄水場視察

水道の広域化の検討が進む中で、数か所の浄水場が廃止対象にあがっていることを受けて、長野市の夏目ヶ原と往生地浄水場を県議団・長野市議団で視察。(2月2日)



JA長野中央会と懇談

長野県の農業や生産者の課題とあわせて、食料・農業・農村基本法の改定をめぐって意見交換をしました。(2月2日)



ご意見・ご要望をお寄せください。

